

マタイの福音書
聖書講解シリーズ
42) 二人の盲人と
口のきけない人のいやし

マタイ 9:27-34

2020.3.8 HKJCF

1

概観

神様のご臨在に触れるために、信仰の必要性について、また神様に期待していくことの大切さについて学びたい。

アウトライン

- 1. 二人の盲人の期待 V27-31
- 2. 口のきけない人の期待 V32
- 3. 群衆とパリサイ派の期待 V33-34

2

1. 二人の盲人の期待 V27-31

- 1) 目が見えない：暗闇の世界；砂漠のホコリと不衛生の環境→乞食になる場合が多い。
- 2) 「ダビデの子よ」：回復される期待（イザヤ 35:1-7）；耳の噂でイエス様がメシヤだと結論づけた。福音を聞いて信じる（ローマ 10:17）。
- 3) 「できると信じるのか？」：初めての奇蹟；依頼の再確認；信仰を表明する機会。
- 4) 「そうです、主よ」：信仰告白→主との関係に展開；触れられ、恵みがあふれた→噂。

3

2. 口のきけない人の期待 V32

- 1) 悪霊の力：悪霊の影響で？病気で？当時の人の理解；靈的な悪の世界の存在。
- 2) 口のきけない人：耳も聞こえない可能性が大きい；音のない世界；いろいろ見えて、声で表現できない苦しさ→心の傷の深さ。
- 3) 連れて来られた：自分の意思でない可能性がある；興味半分諦め半分→成り行きで。
- 4) 関わってくれる友達：友達の信仰と情熱；誘われていく、導かれていく祝福。

4

3. 群衆とパリサイ派の期待 V33-34

- 1) ものを言った：不自由から解放された；人格否定ではなく、もっと豊かに、自由に。
- 2) 群衆の驚き：初めての奇蹟；群衆の期待が低かった。しるしが信仰につながるか？
- 3) パリサイ人の発言：靈的な階層の理解；頑固で不信頼の心；靈的な業を見ようとせず、靈的に物事を見られない→サタンの力で。
- 4) 家の中での奇蹟：人前での奇蹟を避けた；不必要的注目→政治的な解放者の誤解。

5

適用

①イエス様に対する信仰を告白するように：
実生活の中で、イエス様は自分を救うことができると信じて、その信仰を表明することができるよう。

②救いの体験を期待するように：
イエス様に触れられ、救いの体験を確実に感じ取れるように祈り求めていこう。

6